

2013年秋季講演会 第2回「若手交流会」開催報告



男女共同参画委員会

安元 純^{※1}、伊藤浩子^{※2}、藪崎志穂^{※3}
野原慎太郎^{※4}、吉岡真弓^{※5}、中屋眞司^{※6}

日本地下水学会男女共同参画委員会では、2013年10月10日（木）～12日（土）に秋田県民会館・ジョイナスにて開催された2013年秋季講演会において、地下水学会若手会員の交流を図ることを目的に、学生会員や若手会員が興味を持ちやすいような海外渡航経験や若手勉強会等の話題を提供するという形式で「若手交流会」を実施した。プログラムは以下の通りである。

「若手交流会」プログラム

- 日時：10月11日，15:30 - 16:45，場所：第3会場
司会進行：伊藤浩子（地域 地盤 環境研究所），野原慎太郎（電力中央研究所）
- 話題提供：
 - 1) 海外渡航経験の紹介 中川啓（長崎大学）
 - 2) インドネシアでの夏季講習に参加して 聖川健斗（琉球大学 M1）
 - 3) 「若手勉強会・研究会」の報告 吉岡真弓（産業技術総合研究所）
 - 4) 「民間企業技術者の実務や研究の紹介」 小原直樹（日本工営）
 - 5) 今後の「若手交流会」，「若手セミナー」について 藪崎志穂（福島大学）

今回実施した「若手交流会」への参加者は、男女共同参画委員を除くと、約35名で、その内、若手会員は約20名、学生会員は13名程度であった。以下に講演内容を要約する。

まず、初めの長崎大学の中川先生からは、1) 海外渡航経験の紹介ということで、十数年前にスウェーデン ルンド大学に2年間留学されていた際の、ルンド大学での様子やスウェーデンでの生活の様子をお話し頂いた。特に、空き巣が入っているいろいろと大事なものをとられた話や病院での苦労話などが印象に残った。海外渡航時における研究活動以外の側面が垣間見え、学生会員や若手会員に興味深いものであったと思われる。

次に、琉球大学農学部の修士課程1年の聖川健斗君から、2) インドネシアでの夏季講習に参加して感じたことについて報告があった。印象深かったのは、インドネシアボゴール農科大学の学生たちとの交流の様子で、多くの友人が出来たようだった。Research Center for Geotechnology Indonesian Institute of Sciencesでのインターンシップの様子も紹介された。

3番目の産総研の吉岡さんから、本秋季大会の前日の10月9日（水）14:30～18:00に秋田大学で開催した「若手勉強会・研究会」に関する報告があった。「Japanese Young Geoscientists Quorum 2013」と冠されたこの若手勉強会・研究会は、報告者の吉岡真弓さんを始め、愛知正温さん（東京大学）や一言正之さん（日本工営）が発起人となり、関東圏在住の若手研究者を中心に2011年から継続中の勉強会であるが、今回、若手会員の交流の一環として、秋季大会前日に開催し、関東圏以外からも参加者を募った。

※1 琉球大学
※4 電力中央研究所

※2 地域 地盤 環境 研究所
※5 産業技術総合研究所

※3 福島大学
※6 信州大学

本勉強会への参加者は15名程度であり、勉強会後に懇親会も行った。本勉強会における、発表者及びタイトルは、吉岡真弓（産総研）：「地盤の熱物性と原位置での見かけ熱伝導率に関する考察」、聖川健斗（琉球大学）：「石灰岩帯水層における地下水のサンプリングと水質分析に係わる2、3の悩み」、安元純（琉球大学）：「琉球石灰岩帯水層における地下水シミュレーションに関する課題について」、愛知正温（東京大学）：「二相流動系の数値解析における単相流遷移時の数値的悪条件とその回避法について」、利部慎（熊本大学）：「地下水年代トレーサーの研究事例と問題点」であった。

本勉強会の開催趣旨を要約すると、『学会発表や論文発表などでは、どうしても表面的な成果の部分が強調されがちで、それを裏で支えている細かなテクニックなどの暗黙的な知見・技術に関する情報が交換されることは非常に少ないのが現状です。「成功」の背後に埋もれる無数の失敗に至っては、まず目の目を見ることはありません。しかし、実際の研究の成否や円滑な進行は、そういう失敗経験から得た教訓や脈々と受け継がれてきた分野の暗黙的常識のようなものに依っている部分もかなりあります。本会は、Geoscientistsに携わる若手研究者が集まり、分野領域にとらわれず、そのような日々の研究の失敗・ノウハウ・テクニック、今さら人に聞けないような基礎に対する疑問、もちろん、現在進行形の研究テーマの「壁」などを専門内外の人と共に議論・交換することによって各人の技術の見直しや、研究の円滑な進行に役立てる場となることを目的として開催するものです。お茶やお菓子を片手に、若手らしく自由・率直かつ和気藹々と議論しましょう。』となっている。今後も継続的に続けて行きたいと考えているので、興味がある方は若手のメーリングアドレス（japh_eps_member@googlegroups.com）へご連絡ください。

4番目の日本工営の小原さんからは、当初、「民間企業技術者の実務や研究の紹介」というタイトルでの発表を予定していたが、2012年にブラジルリオデジャネイロ郊外で開催されたSWIM22 - 22nd Salt Water Intrusion Meeting, RIO DE JANEIRO, BRAZILに参加した際の、学会の様子や発表内容に関するレビューをご報告頂いた。「地下水の塩水化」に係る最新の研究事例が紹介され大変興味深かった。ブラジルでのエクスカージョンなどの様子は学生会員や若手会員の興味を引くものであったと思われる。

5番目の今後の「若手交流会」、「若手セミナー」については、男女共同参画委員会委員の藪崎先生（福島大学）より、本若手交流会の総括と今後の「若手セミナー」についても、男女共同参画委員会からの方針をご説明頂いた。



写真-1 若手交流会の様子

今回の若手交流会でご講演頂いた皆様には、期日の迫った中のお願いにもかかわらず、今回の趣旨にご賛同頂き、発表を快諾頂きました。誠にありがとうございました。

以上、第2回「若手交流会」報告であるが、2014年春季講演会においては、若手交流会の一環として、ポスター形式で若手交流会を開催する予定である。皆様奮ってご参加くださいますようよろしくお願いいたします。